

# 大学や短大 進路の参考に

親子で進路を考えてもらおうと、西都市・西都中（伊東泰彦校長、673人）は、宮崎大など県内の大学・短大による保護者向け「特別進路学習会」を同校で初めて開いた。中学校の進路学習に大学が参加するのは珍しく、同校は「より先の将来をイメージした進路選択の材料にしてほしい」としている。

西都中、保護者学習会

県内11の大学、短大、高専で構成する一般社団法人・高等教育コンソーシアム宮崎が協力し、6日に開催。宮崎公立大や宮崎国際大など7大学・短大が出席した。同法人によると、中学校が開催する進路関係の行事に大学が参加するのは珍しいという。ほかに西都市の妻高、宮崎医療福祉専門学校も参加した。

ブースでは各大学の担当者が「大学、社会が求める学生」を説明し、学校の特徴、卒業後の進路などを紹介した。保護者は講義内容や大学卒業後の進路、資格取得や留学の状況などを次々と質問していた。

秩父正志教頭は「保護者の時と比べ、入試システムが変わっている。親子で将来をイメージし、進路や学習目標を立てる際に役立ててほしい」と話している。（坂元穂高）



大学・短大の担当者から説明受ける西都中生の保護者たち